

# 第 11 期

## 第 3 四半期報告書

(平成 17 年 1 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日まで)



平成 17 年 5 月 6 日

### 株式会社 旅籠屋

---

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

## 四半期の業績

### (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	前年度 第4四半期 H16.4.1～ H16.6.30	当年度 第1四半期 H16.7.1～ H16.9.30	当年度 第2四半期 H16.10.1～ H16.12.31	当年度 第3四半期 H17.1.1～ H17.3.31	当年度 累計 H16.7.1～ H17.3.31	前年度比	前年度 同期累計 H15.7.1～ H16.3.31
営業収益									
売上高		44,608	45,599	88,860	55,705	52,532	197,098	+23.7%	159,314
営業費用									
売上原価		35,522	45,798	54,637	48,756	47,982	151,376	+28.3%	118,023
販売費及び一般管理費		9,571	9,098	10,258	11,043	10,306	31,608	+15.1%	27,465
営業利益または営業損失( )		484	9,297	23,965	4,094	5,756	14,114	+2.1%	13,825
営業外収益		166	88	136	100	70	307	88.4%	2,639
営業外費用		1,989	1,413	1,535	1,453	2,063	5,052	0.2%	5,063
経常利益または経常損失( )		2,307	10,621	22,566	5,447	7,750	9,368	17.8%	11,400
特別利益		-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失		-	4	-	-	-	-	-	893
税引前四半期(当期)純利益または純損失( )		2,307	10,617	22,566	5,447	7,750	9,368	10.8%	10,506
法人税、住民税及び事業税		-	531	265	265	265	796	+49.9%	531
四半期(当期)純利益または純損失( )		2,307	11,148	22,300	5,712	8,015	8,572	14.1%	9,975
前四半期(前期)繰越損失( )		139,482	141,790	152,939	130,639	136,351	152,939	(-)	151,766
四半期(当期)未処理損失( )		141,790	152,939	130,639	136,351	144,367	144,367	(-)	141,790
期中平均株式数		5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	-	5,620株
1株当たり四半期(当期)純利益または純損失( )		410円	1,983円	3,968円	1,016円	1,426円	1,525円	14.1%	1,775円
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(注1)		-	-	3,697円	-	-	1,400円	18.1%	1,710円

(注1) 前年度第2四半期から第4四半期および当年度第2四半期から第3四半期は、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

### (2) 部門別内訳 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

部門	期別	前年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	前年度 第4四半期 H16.4.1～ H16.6.30	当年度 第1四半期 H16.7.1～ H16.9.30	当年度 第2四半期 H16.10.1～ H16.12.31	当年度 第3四半期 H17.1.1～ H17.3.31	当年度 累計 H16.7.1～ H16.12.31	前年度比	前年度 同期累計 H15.7.1～ H16.3.31
本社(注1)	売上高	2,286	329	457	2,495	358	3,311	11.8%	3,754
	経常損益	8,195	9,197	10,296	9,038	11,195	30,530	(-)	24,326
鬼怒川店	売上高	8,321	7,271	15,232	8,142	7,694	31,069	1.7%	31,615
	経常損益	1,983	721	5,829	748	863	7,441	16.8%	8,939
	客室稼働率	53.3%	43.0%	66.7%	49.5%	47.4%	54.6%	4.1p	58.7%
那須店	売上高	5,997	6,090	11,737	5,990	5,410	23,139	+0.1%	23,111
	経常損益	1,256	362	5,323	518	302	6,145	15.5%	7,271
	客室稼働率	55.4%	64.0%	84.5%	59.3%	51.9%	65.4%	+0.4p	65.0%
秋田六郷店	売上高	3,085	4,724	6,325	3,588	2,748	12,662	1.8%	12,894
	経常損益	878	222	1,591	663	1,410	483	(-)	452
	客室稼働率	43.0%	61.2%	66.8%	50.6%	38.1%	51.9%	0.5p	52.4%
山中湖店	売上高	8,138	8,490	14,561	8,213	7,526	30,300	3.0%	31,232
	経常損益	2,326	1,574	7,298	1,896	1,765	10,960	0.5%	11,018
	客室稼働率	64.1%	76.1%	88.8%	64.5%	58.3%	70.6%	4.5p	75.1%
沼田店	売上高	7,694	6,180	8,770	6,707	7,640	23,118	1.4%	23,458
	経常損益	2,251	264	2,641	1,157	1,787	5,585	15.2%	6,589
	客室稼働率	88.3%	76.4%	85.4%	78.3%	83.4%	82.4%	4.1p	86.5%
水戸大洗店	売上高	6,188	6,044	10,311	6,099	6,362	22,774	+5.0%	21,698
	経常損益	933	339	4,424	828	895	6,148	+22.9%	5,002
	客室稼働率	72.3%	73.4%	85.0%	73.0%	75.7%	77.9%	+2.9p	75.0%
北上店	売上高	2,894	3,532	6,187	3,881	3,900	13,969	+21.0%	11,546
	経常損益	1,564	1,522	1,287	1,061	904	678	(-)	2,641
	客室稼働率	35.6%	38.4%	57.6%	48.8%	49.6%	52.0%	+10.3p	41.7%
仙台亘理店	売上高	-	2,936	6,826	4,707	4,869	16,402	-	-
	経常損益	378	1,523	1,335	371	315	771	-	-
	客室稼働率	-	52.7%	72.5%	62.9%	71.9%	69.1%	-	-
小淵沢店	売上高	-	-	8,449	5,879	6,021	20,350	-	-
	経常損益	43	418	3,131	538	461	4,007	-	-
	客室稼働率	-	-	77.7%	74.6%	77.5%	76.6%	-	-
全社合計	売上高	44,608	45,599	88,860	55,705	52,532	197,098	+23.7%	159,314
	経常損益	2,307	10,621	22,566	5,447	7,750	9,368	17.8%	11,400
	客室稼働率	58.5%	60.0%	75.7%	61.7%	60.6%	66.0%	+1.3p	64.7%

(注1) 「前橋南店」関連の費用(35千円)を含んでおります。

**(3) 貸借対照表** (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目		期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度
		第3四半期末 H16.3.31	第4四半期末 H16.6.30	第1四半期末 H16.9.30	第2四半期末 H16.12.31	第3四半期末 H17.3.31	
<b>(資産の部)</b>	流動資産						
	現金預金	19,915	9,164	9,754	34,871	33,259	
	その他	4,888	6,273	6,689	6,238	6,389	
	流動資産合計	24,803	15,437	16,443	41,110	39,649	
	固定資産						
	有形固定資産	388,543	382,841	383,890	378,551	373,849	
	無形固定資産	1,997	1,828	1,681	1,534	1,387	
投資その他の資産	18,935	19,017	18,900	18,783	18,767		
固定資産合計	409,476	403,687	404,472	398,869	394,003		
資産合計	434,280	419,125	420,916	439,980	433,652		
<b>(負債の部)</b>	流動負債	24,421	67,745	47,307	11,235	11,008	
	固定負債	251,450	204,119	204,048	264,896	266,811	
	負債合計	275,871	271,865	251,355	276,132	277,819	
<b>(資本の部)</b>	資本金	281,000	281,000	281,000	281,000	281,000	
	資本剰余金						
	資本準備金	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200	
	利益剰余金						
	四半期(当期)未処理損失( )	141,790	152,939	130,639	136,351	144,367	
資本合計	158,409	147,260	169,560	163,848	155,832		
負債資本合計	434,280	419,125	420,916	439,980	433,652		
発行済株式総数	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株		
1株当たり純資産	28,186 円	26,202 円	30,170 円	29,154 円	27,728 円		

**(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。

事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法 経過勘定項目	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
賞与の計上基準	10～12月の売上高の5%相当額を6月支給予定の賞与未払費用として計上しています。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
消費税等の会計処理	仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

**(5) 重要な会計方針**

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

(2) 無形固定資産

建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年  
定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。

(3) 長期前払費用

定額法を採用しています。なお、期間内均等償却によっています。

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

## 第 11 期第 3 四半期（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績の概況

### (1) 本社

スタッフ増員などにより、経常損失は 6,204 千円増加しました。

### (2) 鬼怒川店

観光客の減少や地域の衰退により利用者の漸減傾向（稼働率 58.7 54.6%）が続いており、前年同期に比べ売上高（ 1.7%）が微減、経常利益も（8,939 7,441 千円）減少しています。

### (3) 那須店

稼働率（65.0 65.4%）売上高（+0.1%）ともに前年同期をわずかながら上回りましたが、経常利益は減少（7,271 6,145 千円）しました。

### (4) 秋田六郷店

稼働率（52.4 51.9%）売上高（ 1.8%）経常損失（ 452 483 千円）ともに、わずかながら前年同期を下回りました。通期での黒字転換は微妙な状況です。

### (5) 山中湖店

基本的に好調が続いていますが、前年同期に比べ、稼働率（75.1 70.6%）売上高（ 3.0%）経常利益（11,018 10,960 千円）ともに下回りました。

### (6) 沼田店

稼働率（86.5 82.4%）売上高（ 1.4%）経常利益（6,589 5,585 千円）ともに前年同期を下回りましたが、稼働率が 80%を超えており、きわめて好調です。

### (7) 水戸大洗店

稼働率（75.0 77.9%）売上高（+5.0%）経常利益（+22.9%）ともに前年同期を上回り、好調です。

### (8) 北上店

稼働率（41.7 52.0%）売上高（+21.0%）ともに前年同期を大幅に上回り、経常損失も大きく減少（2,641 678 千円）していますが、通期での黒字転換には届かない見通しです。

### (9) 仙台亘理店

オープンからほぼ 1 年が経過しましたが、稼働率が 69.1%と好調で、経常損益もプラス（771 千円）となっています。ただし、ファミリー客の誘致など客室単価の向上による収益性の向上が課題です。

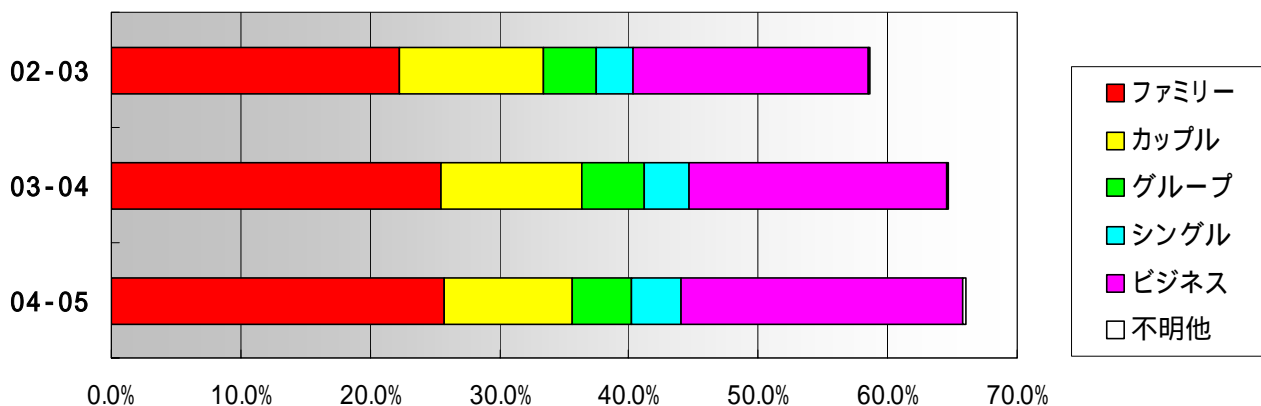
### (10) 小淵沢店

冬季も稼働率の落ち込みもなく、通期でも大幅な経常利益が見込まれます。

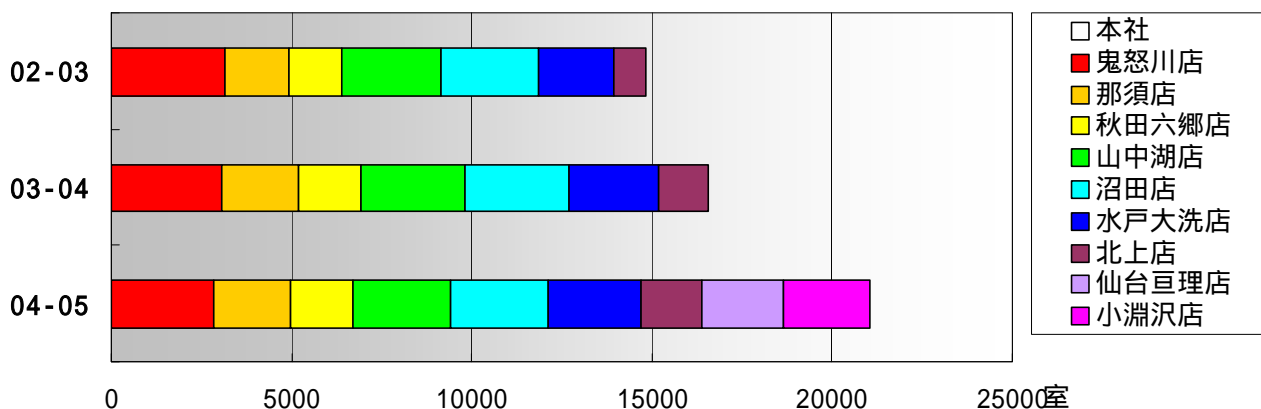
### (11) 全社

前年同期に比べ、売上高は大幅に増加（+23.7%）しましたが、既存 7 店はほぼ横ばい（+0.9%）であり、増加分は新規店舗（仙台亘理・小淵沢）の加算によるものです。既存店についても、鬼怒川・那須・秋田六郷・山中湖・沼田は伸び悩みあるいは減少傾向にあり、これを水戸大洗・北上の増加が補っている状況です。経常損益についても、既存 7 店の合計は前年同期に比べ 1.7%（35,726 35,120 千円）と減少しました。新規店舗はオープン初年度ながら経常利益を計上（4,778 千円）しましたが、本社の経常損失の増加（24,326 30,530 千円）によって、全社では経常利益が減少（11,400 9,368 千円）する結果となっています。今年度より四半期ごとに賞与を未払い計上している（第 3 四半期末では 2,737 千円）影響を除けば実質的には前年同期を上回っているわけですが、少なくとも今年度においては店舗の増加が利益拡大につながっていない状況です。

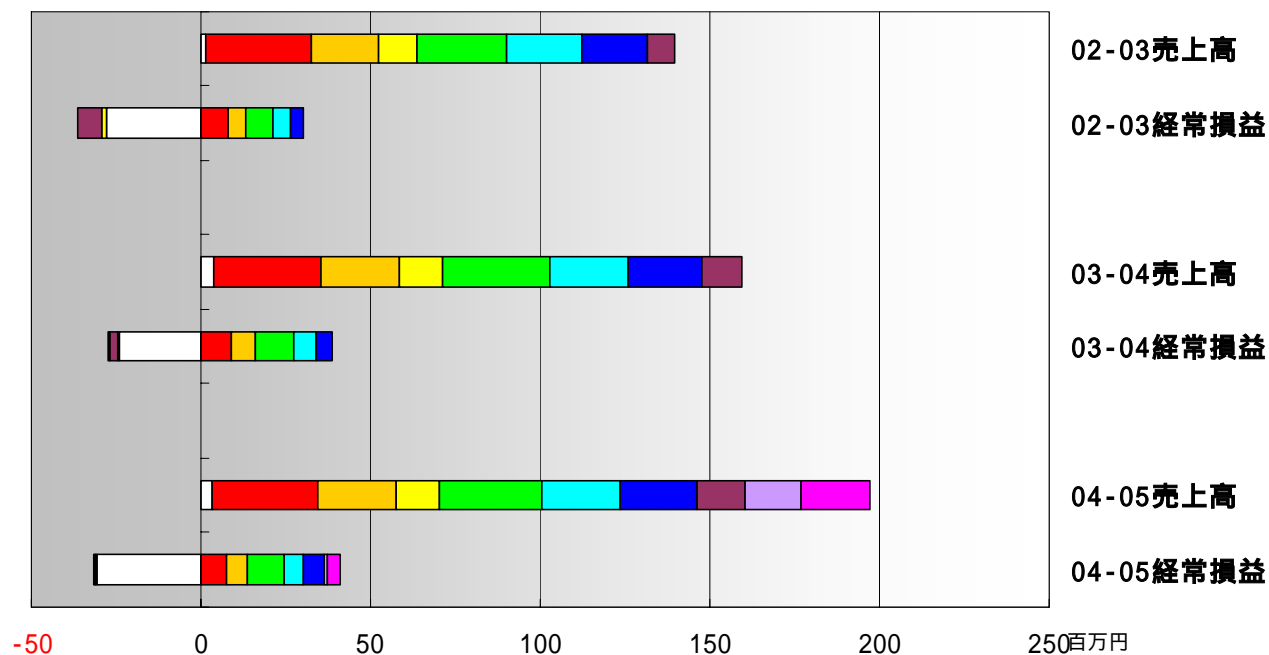
### 客室稼働率（全店通算、構成内訳）の推移（2004.7/1～2005.3/31）



### 利用客室数（全店合計、店舗別内訳）の推移（2004.7/1～2005.3/31）



### 売上高・経常損益（全社合計、部門別内訳）の推移（2004.7/1～2005.3/31）



## 第 11 期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 10 期 通期実績 H15.7.1～ H16.6.30	第 11 期				
		第 1 四半期 実績 H16.7.1-9.30	第 2 四半期 実績 H16.10.1-12.31	第 3 四半期 実績 H17.1.1-3.31	第 4 四半期 予想 H17.4.1-6.30	通期予想 H16.7.1～ H17.6.30
売上高	204,913	88,860	55,705	52,532	58,523	255,620
経常損益	778	22,566	5,447	7,750	3,631	13,000
当期純損益	1,172	22,300	5,712	8,015	1,427	10,000

第 4 四半期には、「前橋南店」のチェーン加盟料など、新規出店に関する収益が見込まれるため、通期での黒字転換予想については変更ありません。

## 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1～6.30	第 11 期 第 1 四半期 H16.7.1～9.30	第 11 期 第 2 四半期 H16.10.1～12.31	第 11 期 第 3 四半期 H17.1.1～3.31
現金および預金の増減額	10,751	+590	+25,117	1,615
現金および預金の四半期首残高	19,915	9,164	9,754	34,871
現金および預金の四半期末残高	9,164	9,754	34,871	33,259

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1～6.30	第 11 期 第 1 四半期 H16.7.1～9.30	第 11 期 第 2 四半期 H16.10.1～12.31	第 11 期 第 3 四半期 H17.1.1～3.31
短期借入金の増減額	-	20,000	-	-
短期借入金の四半期首残高	20,000	20,000	-	-
短期借入金の四半期末残高	20,000	-	-	-

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第 10 期 第 4 四半期 H16.4.1～6.30	第 11 期 第 1 四半期 H16.7.1～9.30	第 11 期 第 2 四半期 H16.10.1～12.31	第 11 期 第 3 四半期 H17.1.1～3.31
長期借入金の増減額	6,698	3,223	+24,991	+2,727
長期借入金の四半期首残高	248,905	242,207	238,984	263,975
長期借入金の四半期末残高	242,207	238,984	263,975	266,702

借入金の増加は、東京シティ信用金庫(協会保証による制度融資20,000千円、3月融資実行)からの借入れと約定返済の差額によるものです。

## 今後の事業展開と出店計画について

### 7月に「前橋南店」オープン予定

10号店となる「前橋南店」の建築工事は順調に進んでおり、予定通り5月末に竣工、7月1日にオープンの予定です。

### 今後の出店計画

「九十九里店（仮称）」の出店がほぼ決定しました。場所は千葉東金道路終点の「松尾横芝インター」付近の国道沿い、詳しくは正式契約後に発表しますが、7月に着工、遅くとも年内にはオープンの予定です。

また、昨秋より進めていた東京湾岸エリアへの出店についてもようやく候補地が決まり、現在具体化に向けた作業を行っているところです。こちらも、正式決定に至りましたら詳細をお知らせします。

その他、静岡県・新潟県・京都府・石川県などで交渉が進んでおり、出店エリアの拡大を図っているところです。

### 個人情報保護法への対応

法律の施行にともない、方針・規定の策定、セキュリティの強化（ペリサイン社のSSL暗号化通信の採用、ウイルス対策ソフトの導入など）、社内教育の実施、社内外の機密保持契約の締結などを行いました。

### 店舗管理システムの拡充

店舗数の増加にともない、店舗運営業務を標準化・効率化するため、社内のイントラネットを見直し、マニュアルの再編と各種情報の集約を進めています。

あわせて、当社独自の店舗運営システム（HMS）の機能強化に着手しました。

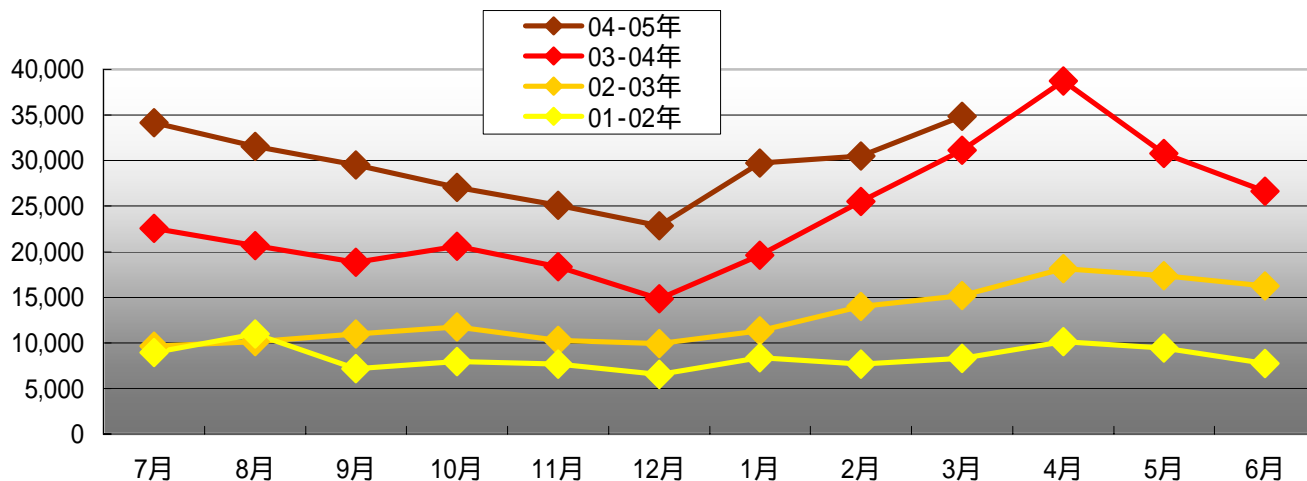
### 集客アップのため、雑誌広告を実施

既存店舗の業績が伸び悩んでいるため、春から夏休みにかけて、いくつかの雑誌に広告を掲載し、集客増を図ります。具体的には、まっふるマガジンの「安くてよい宿、公共の宿」の関東版と東北版、「日光・那須05-06」「東北05-06」（いずれも3月下旬発売済み）、および「日経Kids」「ドライブぴあ 夏」（いずれも6月発売予定）の6誌です。

なお、2月に開設したマイカー旅行者向け総合情報サイト「ファミドラ <http://www.famidola.net/>」は、少しずつコンテンツが増え、トップページへのアクセス数も1日200前後となっています。

ちなみに、旅籠屋のホームページのアクセス数は、以下のグラフのとおりです。

「旅籠屋サイト」トップページアクセス数の推移



以上